

加茂山城のろしプロジェクト

10/23(日) 加茂山城から狼煙^{のろし}を AM10:30 打ち上げます

加茂商工会議所ではにぎわいのある中心市街地をめざして、歴史を活かしたまちづくりに取り組んでいます。この度、「第2回加茂山城のろしプロジェクト」を実施します。

リス園や池の端などで市内はもとより市外の多くの方からも親しまれている加茂山が、今から約450年前の戦国時代後半、山城だったことをご存知ですか。加茂山には加茂要害山城跡、剣ヶ峰砦跡、尾振山砦跡の3つの山城があり、全て造りが似ていることから、恐らく密接に関係した一つの山城だったのではないかとされています。そして今も、山城の地形が残されています。

今回は、古くから敵の攻撃を知らせるなど、戦絡みの情報伝達手段として使われていた狼煙（のろし）を加茂山の山頂部である本丸跡を舞台に狼煙を打ち上げます。

◆とき 平成28年10月23日(日)
午前10時30分頃打ち上げ

◆ところ 本丸跡（加茂山山頂部）

「山城」って？

「山城」とは、丘陵上に築かれた敵が侵入できないように人の手を加えて作られた山のことを言います。戦の時にしか利用されない非日常的な場所です。

戦略上、重要な場所に築いた砦であり、形が険しいため守りに有利で敵にとっては害とされていることから「要害」とも言われています。

加茂山は、1578年上杉謙信没後に起こった上杉景勝と上杉景虎の二人の養子による跡目争い『御館の乱』や1600年関ヶ原の戦いの最中に上杉景勝が旧領士であった越後の農民を巻き込んで起こした「上杉遺民一揆」、1868年新政府軍(西軍)と奥羽越列藩同盟軍(東軍)との戦い「北越戊辰戦争」など、様々な歴史的舞台となりました。

のろし目撃メール 大募集!

狼煙(のろし)を目撃した方は、加茂商工会議所まで写真付きでメールを送ってください(小雨決行)。送られてきた写真は当所ホームページで紹介いたします。

一番遠い場所から送っていただいた方には、当所オリジナルの檜製ぐい呑み六角升之助(1ヶ3,000円・税込)をプレゼントいたします。皆様のメール、お待ちしております!

(撮影場所が特定できる写真を対象とします。附近の建物や目印になるものを明記してください。)★メールアドレス info@kamocci.or.jp



・第1回加茂山城のろしプロジェクトの様子その1
三条市保内附近から見えた狼煙(目撃メールより)



・第1回加茂山城のろしプロジェクトの様子その2
打ち上げ会場の本丸跡の様子



六角升之助